

商品安全データシート (MSDS)

フジトク株式会社

東京都北区上十条1-9-16

担当部門及び緊急連絡先

光学営業部

Tel: (03) 3909-1791

Fax: (03) 3908-6450

作成 1994年4月1日

商品名	フッ化バリウム
物質の特定	化学名: フッ化バリウム 化学式: BaF_2 分子量: 175.36 含有量: 99.99% 化審法公示番号: 1-82 CAS NO: 7787-32-8 国連番号: 1564 国連分類: クラス6.1 (毒物)
適用法令・ 許容濃度	毒・劇物取締法: 劇物 危険物船舶運送及び貯蔵規則: 毒物類 その他: 水質汚濁防止法, 海洋汚染防止法 ACGIH (TLV): 0.5 mg/m^3 (Baとして) 2.5 mg/m^3 (Fとして) OSHA (PEL): 0.5 mg/m^3 (Baとして) 2.5 mg/m^3 (Fとして)
物理・化学的 性状	外観: 無色透明固体 (結晶) 臭気: 無臭 溶解度: 水100gに対して 0.12g (25℃) 酸と塩化アンモニウムに 可溶 融点: 1280℃ 比重: 4.83

作業上の注意	①取扱いの際には必ずマスク，保護眼鏡，ゴム手袋を着用すること。 ②取扱い後は，十分に手洗い及びうがいをする。
安全性情報	フッ化バリウムは水に殆ど溶解せず，結晶の状態では，皮膚，粘膜に吸収されにくいと考えられるが，粉末の状態では，皮膚や眼，鼻，のど，気管支，肺等の粘膜を刺激し炎症を起こすことがある。 多量に摂取すると，嘔吐，腹痛，下痢等の症状を起こすことがある。 バリウムイオンはすべての筋肉に対して持続的な刺激となり異常な筋収縮，心臓では不規則な収縮により心停止を起こすことが分かっている。 加熱，又は酸と接触すると有毒なフッ化水素ガスを発生するので，注意を要する。
応急処置	①皮膚に付いた時は，付着又は接触部を石鹼水で洗浄し，多量の水で洗い流す。 ②目に入った時は，多量の水で15分間以上洗浄した後，医師の診断を受ける。 ③吸入した時は，被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移し安静にさせて，医師の診断を受ける。 ④飲み込んだ時は，水でよく口の中を洗浄する。指をのどに差しこんで吐き出させ，直ちに医療処置を受ける手配をする。
火災時の処置	適応消火剤で消火する。 消火剤：水，二酸化炭素（ガス，泡）。
備考	危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので，取扱いには十分注意して下さい。
用語解説	C A S N O . : Chmical Abstract Service Number (米国化学会が化学物質に付与している登録番号) A C G I H : American Conference of Govermental Industrial Hygienists (米国産業衛生専門家会議)

用語解説	O S H A : Occupational Safety and Health Adminis- trations (米国労働安全衛生庁) T L V : Threshold Limit Value (化学物質濃度値 : 殆ど全ての労働者に悪い健康影響を引き起こ さないと考えられている空気中の化学物質濃 度) P E L : Permissible Exposure Limit (許容暴露限界 : 法的強制力のある許容暴露限界)
------	---